

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

⊘

絶対に
行わないで
ください。

!

必ず指示に
従い
行ってください。

⚠警告			
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの			
⊘ 禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)	⊘ 禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

⚠注意			
誤った取扱いをしたときに、傷害または 家屋・家財などの損害に結びつくもの			
⊘ 禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の 資格が必要です。 (火災・感電の原因)	⊘ 禁止	光を直視しない (長時間直視すると目を痛める原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置か ない。 (過熱して火災の原因)	! 厳守	明るく安全にご使用いただくために定期的に 清掃・点検を行う。
●照明器具には寿命があります。設置して8～10年※ 経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行して います。点検・交換をおすすめします。 LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続 けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能 というわけではありません。 ※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。		●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が 短くなります。 ●3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受け ください。 ●点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・ 発火・感電などに至る恐れがあります。	

器具の清掃	
⚠警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因)	
＜器具のお手入れについて＞ 器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が 残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。 シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。 ＜カバーのお手入れについて＞ カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等 柔らかい布で拭いてください。	
⚠注意 点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)	

知っておいていただきたいこと
○点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

保証について
■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、器具内蔵の点灯回路は3年間です。 詳細は弊社カタログをご参照ください。

お 願 い
●LEDにはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合が あります。ご了承ください。 ●LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換ください。 ●壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。

アフターサービス
ご使用中、もし器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・ 故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

各部のなまえと取付けかた — ⚠ 警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

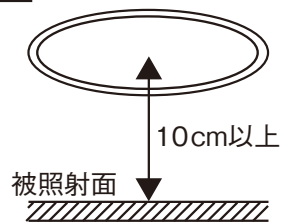
1 取付前の確認

- 器具質量（約 0.9kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
- 補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定する。

注) ロックウール、珪酸カルシウム板等、柔らかい天井に取付ける場合は天井材損傷、枠と天井面の間に隙間ができることがありますので、天井上面と取付バネの間に補強材を入れてください。不備があると天井材の破損、落下の原因となります。

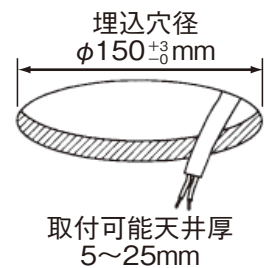
⚠ 警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
(落下の原因)

⚠ 警告
器具と被照射面は 10cm 以上離す
(火災の原因)



2 天井に埋込穴をあける

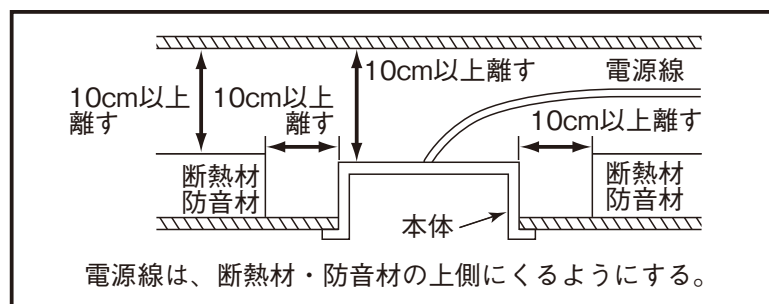
- 指定埋込穴径 $\phi 150^{+3}_{-0}$ mm に対して +3、-0mm であける。



⚠ 警告
断熱施工天井に取付けない
(火災の原因)



断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。



3 電源線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
- (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

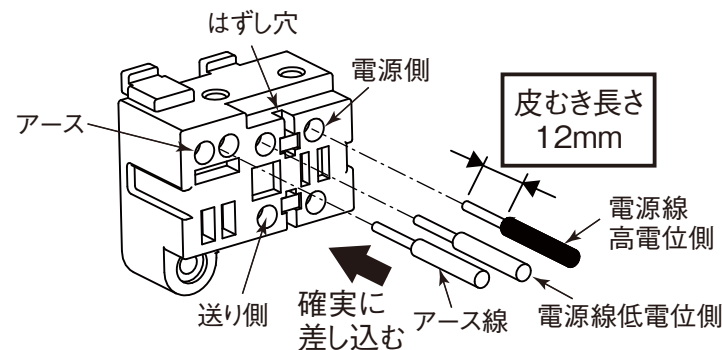
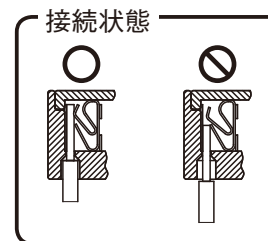
⚠ 警告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

⚠ 警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

- 電源端子台の容量は **15A** です
- 適合電線： $\phi 1.6$ mm 単線 $\phi 2.0$ mm 単線

⚠ 警告
送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

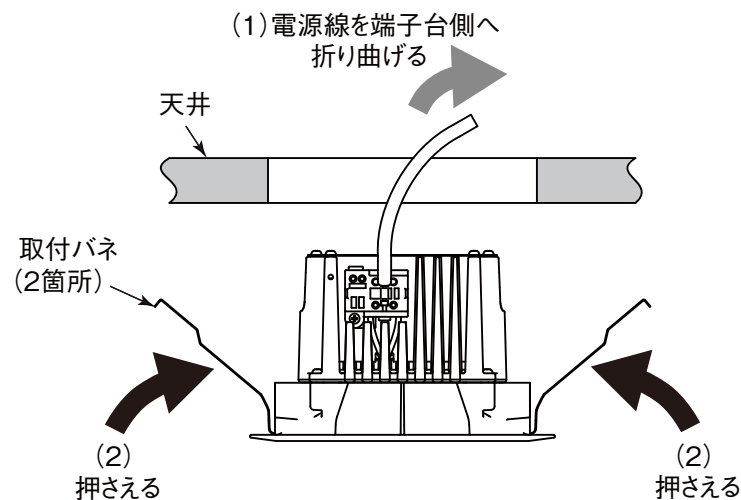
⚠ 警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）



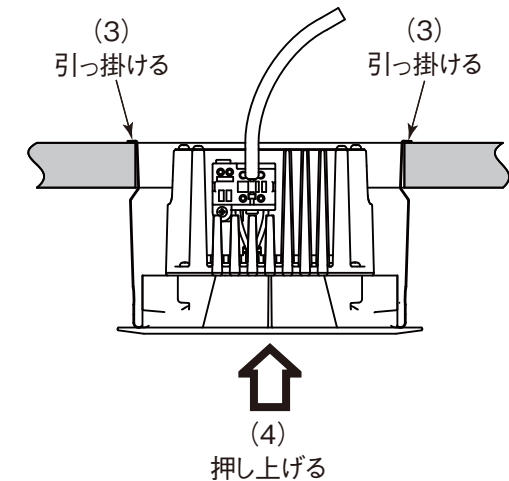
- 電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅 6mm のマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

4 器具を埋込穴に入れる

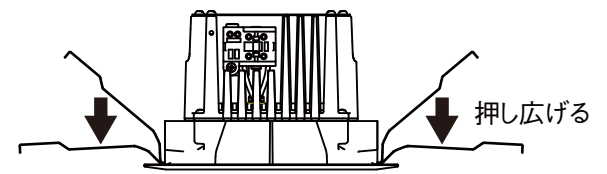
- (1) 電源線を端子台側へ折り曲げる。
- (2) 取付バネを矢印の方向に押さえる。



- (3) 取付バネの先端を天井裏に引っ掛ける。
- (4) 枠が天井に密着するまで本体を押し上げる。



※天井板厚 5 mm の場合、天井との間に隙間が空くことがあるので、この場合は一度取付バネを押し広げてから挿入する。



5 器具のはずしかた

- (1) 枠をつかみ、ゆっくり下へ引き下げる。
なお、引き下げにくい場合は、工具等（マイナスドライバー等）を使用してください。
 - (2) 取付バネを矢印の方向に押さえながら埋込穴から外す。
- 注) 無理に引き下げると天井材破損の恐れがあります。また、引き下げる時に工具を使用する場合には、天井材破損がないように注意してください。

